

歴史と自然、

にぎわいのまち中野

1 鷺宮八幡神社(白鷺1-31-10)

旧上・下鷺宮村の鎮守で、区内の神社では唯一江戸時代に御朱印地を与えられた。境内は木々がうっそうと茂り、鷺がたくさん棲んでいたことから、鷺の森、鷺宮大明神とよばれ、これが地名のもとになったといわれる。

2 大和町八幡神社(大和町2-30-3)

この地は永承年間(1046~53)に源義家が奥州征討の時、京都の石清水八幡宮を拝み、軍陣祭を行った跡地といわれている。天喜4年(1056)に義家と石清水八幡宮を信仰した村人たちが、同八幡宮を勧請し、八幡神社を造営したと伝えられる。

3 沼袋氷川神社(沼袋1-31-4)

正平年間(1346~70)に武蔵国一の宮である大宮鎮座の氷川神社より御分霊をいただいて奉祀したのが始まりといわれる。太田道灌が豊島氏との合戦の際、戦勝を祈念して植えた「道灌杉」と呼ばれた杉の木の一部が残されている。

4 江古田氷川神社(江古田3-13-6)

旧江古田村の鎮守で、創建は寛正元年(1460)といわれ、太田道灌が戦勝を祈願したと伝えられる。牛頭天王さまと称したが、元禄9年(1696)、氷川神社とした。弘化3年(1846)に建てられた神楽殿で、江古田獅子舞が舞われる。

5 北野神社(松が丘)(松が丘2-27-1)

通称松が丘天神。祭神は菅原道真公。旧片山村の鎮守で、もとは天満宮といった。かつて村人が弓的を射てその年の豊作を祈る「おびしゃ」の神事が行われていた。文明9年に太田道灌が戦勝祈願をしたといわれる。明治5年北野神社と改称された。

6 上高田氷川神社(上高田4-42-1)

旧上高田村の鎮守として享徳2年(1453)武蔵大宮氷川神社より勧請した。長禄元年(1457)太田道灌が江戸城を構築するにあたり、しばしば当社に詣で、松一株を植栽したという。

7 新井天神 北野神社(新井4-14-3)

旧新井村の鎮守社。創建年代は詳ではないが新井薬師を開いた僧行春の創始と伝えられる。区内で唯一の西の市の市や鷺替え神事が行われ、多くの人でにぎわう。

8 北野神社(中野)(中野5-8-1)

通称打越天神。祭神は菅原道真公で、かつて天神社といった。社前の道は新井薬師へ通じる薬師道で、道筋に建てられていた元禄年間(1688~1704)の庚申塔や如意輪観音が境内に移されている。

13 白鷺せせらぎ公園(白鷺1-4)

14 野方区民ホール(野方5-3-1)

15 平和の森公園(新井3-3-7)

16 平和資料展示室(新井3-37-78)

17 新井薬師公園(新井4-15.5-4)

18 江原屋敷森緑地(江原町3-22)

19 江古田の森公園(江古田3-14)

20 歴史民俗資料館(江古田4-3-4)

21 江古田公園(松が丘2-29.35)

22 哲学堂公園(松が丘1-34-28)

23 中野四季の森公園(中野4-12.13)

24 中野サンブラザ(中野4-1-1)

25 なかの芸能小劇場(中野5-68-7)

26 なかのZERO(もみり山文化センター)(中野2-9-7)

27 紅葉山公園(中野2-5)

28 広町みらい公園(弥生町6-1-7)



28 広町みらい公園



30 旧道の御振神社と地蔵尊



29 わずかに残る屋敷森



31 社に建つ石仏



18 江原屋敷森緑地



23 中野四季の森公園

9 東中野氷川神社(東中野1-11-1)

旧中野村の総鎮守社で、創建は長元3年(1030)に源頼信公が平忠常征討の際、武蔵一宮大宮氷川神社の神霊を勧請したことによる。慈眼寺の僧覚順による安政6年(1859)の敷石供養塔や文久2年(1862)鶴屋横丁の鶴屋勘右衛門寄進の石鳥居などがある。

10 本郷氷川神社(本町4-10-3)

祭神は素戔鳴尊。文明元年(1469)太田道灌が江戸城を構築するにあたり、鎮座のため武州大宮氷川神社より勧請した。文明9年(1477)豊島氏との合戦の戦勝を祈願して社頭に杉一株を献植したという。境内に文政5年(1822)の鳥居や天保4年(1833)の狛犬など残る。

11 神明氷川神社(弥生町4-27-30)

旧雑色村字川島の鎮守社で、社伝によると文明元年(1469)太田道灌が江戸城の守護神として、武蔵大宮の氷川社より勧請した二社のうちのひとつで俗に二蔵川神社というと伝えられる。境内には「願掛け」の百度参りをした百度石がある。

12 多田神社(南台3-43-1)

旧雑色村多田地域の鎮守で、祭神は多田源氏の祖 多田満仲公。社伝によると、寛治6年(1092)源義家が前九年 後三年の役で戦死の帰途、曾祖父多田満仲公を祀る祠を建てたのが始まりといわれる。境内には文政11年(1828)の手洗鉢などが残る。